

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 8 年 1 月 15 日

設置・運営主体	株式会社WITH		
設置主体	株式会社WITH		
経営主体	株式会社WITH		
事業所名 (施設名)	保育所まあむ川口東口園	種別	保育所
所在地	〒 334-0015 埼玉県川口市幸町3-8-46-2F		
電 話	048-254-5116		
FAX	048-280-6105		
Email	mam-higashi@with-group.co.jp		
URL			
施設長氏名	小松 智子		
調査対応担当者	小松 智子	(所属、職名：園長 )	
利用定員	49 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念 ・思いやりの心 ・健康なからだ ・自主性と意欲</p> <p>1 乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するものとする。</p> <p>2 保育に関する専門性を有する職員が、利用乳幼児の過程と緊密な連携のもとに、利用乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行うものとする。</p> <p>3 利用乳幼児の家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、利用乳幼児の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努めていくものとする。</p> <p>4 児童福祉法その他関係法令等を遵守し、運営を行うものとする。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	7:00~20:00		

### 【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児	8	8	1		2
2歳児	8	8	1		2
3歳児	11	9	1		1
4歳児	11	11	1		1
5歳児	11	11	1		1
計	49	47	5	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

### 【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数	12人				
うち	保育士	9人	保健師・看護師	人	
	栄養士・調理員	2人	その他（施設長）	1人	
非常勤職員数	3人	（常勤換算	1.2人）		
うち	保育士	人	（常勤換算	人）	
	保健師・看護師	1人	（常勤換算	0.5人）	
	栄養士・調理員	人	（常勤換算	人）	
	その他（	2）	人	（常勤換算	0.7人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	3人	非常勤：	1人
	退職	常勤：	0人	非常勤：	1人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢			32.9歳	（	歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数			5年	（	年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。					

### 【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間 3,000円 2時間 4,500円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 7 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

### 【実習生の受け入れ】

・令和 7 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 1 人

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		156.02 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり	3.2 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		m <sup>2</sup>
	児童1人あたり	m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	昭和	62年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 行事ごとの感想用紙
- ・ 保護者会での質疑
- ・ 個人面談での吸い上げ
- ・ 運営委員会で保護者代表からの聞き取り(乳児代表1名・幼児代表1名)

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

健康な体の形成として、安全な保育環境で食育、乳児期から体系的に運動遊びを取り入れています。幼児クラスのたいいく、4歳児、5歳児クラスのダンス教室、体力測定、サッカーの取り組みがあります。

思いやりの心の形成として、混合保育の時間があり、乳児の時は年上の子の優しさを知り、やがて幼児になると相手を思いやる優しさが育ちます。全体を見渡せる園の造りが、困っている人や場面に声をかけずにはいられない保育を生み、園全体の雰囲気となっています。

自主性と意欲の形成として、様々な知育教育を通してやりたい気持ちを育てます。乳児は、選りすぐりの絵本、木のおもちゃ、幼児になるとクレヨン遊びからオリジナルドリルで形やことば、かずに親しみを持ち楽しくなだらかに就学への準備をしています。5歳児は、書き方教室で正しい姿勢、書き順を一年かけて丁寧に学ぶことができます。4歳児、5歳児は、集中できる環境設定の中、各々興味関心を持った遊びを選択し非認知能力を育てる時間があります。

幼児クラスでは、様々な話題で子ども会議を行います。自分の意見を伝えるから始まり、自分と違う意見にも耳を傾け、コミュニケーションの体験を積んでいきます。乳児からネイティブイングリッシュに触れる時間があり、広い視野で人と関わる力が育ちます。その他、夕方の自由遊びの時間に積極的に廃材製作に取り組んでいます。3歳児は糊やセロテープを使用し、4歳児からは時機を見てハサミを使用して、繰り返し思い思いの作品を作り込んでいきます。園庭がない環境の中でも工夫して自分の中にある才能やアイデアを発揮出来るように取り組んでいます。

## 【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回（令和          年度）